

ステークホルダーとの共創

レゾナックは、パーパスを実現し、社会へ新たな価値を創出・提供するために、従業員をはじめ、お客さま、株主・投資家の皆さま、地域・行政の皆さま、お取引先さま、次世代・学生の皆さまとの共創を進めています。
インクルーシブな視点での活動を推進し、建設的な対話を経営に反映することで、共創型化学会社として一層の成長を目指しています。

チーム高橋が、当社の“今”のありのままを熱く語る、サステナビリティ説明会を開催

「人的資本経営」や「ガバナンスの進化」などについて、正直に赤裸々に当社の“今”をお届けする、対話の場を創出。本説明会をきっかけに投資家との対話にもつなげています。

「**マネジメントによる投資家との対話**」
60件 (2023年)

[P58 / 株主・投資家とのコミュニケーション](#)

サステナビリティ説明会の資料・動画はこちら



サプライヤーの声をサステナブル調達施策に反映

年間約450社のサプライヤーを対象にアンケート調査を実施し、結果をもとに対話を行っています。結果やサプライヤーの声は経営陣にも報告し調達施策に反映しています。

[P105 / サステナブル調達](#)

地域とのさまざまな共創、行政との連携により事業推進

プラスチックケミカルリサイクル (KPR) 啓発活動の実施
 当社従業員の家族が通う小学校と協働し、SDGs活動として学校で回収したプラごみを川崎事業所に運び、リサイクルする取り組みを実施。子どもたちに循環型社会の大切さを伝えています。

環境省「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」に参画
 東日本大震災で被災した福島県の12市町村などにおいて、脱炭素と復興の両立に向け長期にわたり連携する取り組みに、当社も参画しています。個別テーマやネットワーク形成などに連携して取り組み、被災地域の復興に継続的に貢献していきます。

[WEB](#) [環境省「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」に参画](#)

「地球との共生」

社会課題の解決による
社会価値の創出

「人々の幸せと豊かさ」

多様な人々をつながり、
共に最適解を創る



長野県大町市での取り組みはP.89で紹介

顧客や取引先との共創で、半導体業界にイノベーションを創出



次世代半導体パッケージ技術開発のコンソーシアム「JOINT2」を主導

他社との協業により次世代半導体の実装技術や評価技術を確認すべく、2021年に参画企業12社で「JOINT2」がスタート。参画企業の材料や装置を組み合わせることで、お客さまが行う半導体評価試験に近い条件での材料や装置の評価が可能となり、開発期間の短縮に寄与しています。

[P39 / 半導体 前工程材料・後工程材料](#)

バリューを体現する従業員の自律型プロジェクトが進行

グローバルアワード
"AHA!"はP.15参照



REBLUC (Resonac Blue Creators)

REBLUCは従業員一人一人の情熱や目的意識が重なり合い、共鳴を生み出すためスタートしたパーパスドリブン思考のコミュニティです。REBLUCでスタートした宇宙材料プロジェクトは2024年4月よりJAXAとの共同研究も始まっています。

[P67 / JAXAとの共同研究](#)

参加者数 (累計)

66名

Resonac Pride Award

会社業務の範囲の内外を問わず、社会貢献、文化、スポーツ等の活動を通じてパーパス・バリューを体現した社員・チームを表彰する制度を2023年より開始。国内外の従業員がさまざまな取り組みを実施し、共有しています。

エントリー数 (累計)

115件

次世代・学生との連携で得たご意見をサステナビリティの取り組みに反映



東京工業大学の学生と共同研究開発により新価値創造へ

半導体の新素材などの研究に東京工業大学の学生と当社技術者が協力して取り組んでいます。AIなどを活用した計算科学は素材開発の効率化において重要性が高まっており、学生とのコミュニケーションを密にすることで新たな価値創造につなげていきます。

産学連携教育として、当社統合報告書の授業を実施

一橋大学、明治大学、東京都立大学のゼミにて、当社統合報告書を研究対象とした授業を実施。当社の企業価値向上に向けた取り組みや価値創造プロセスをご説明し、Z世代である学生から得たフィードバックを、サステナビリティの取り組みや開示に反映しています。